

## 式辞

公益社団法人全国行政相談委員連合協議会

会長 小野 勝久



本日ここに、若生総務審議官はじめ私ども行政相談委員を所管される総務省行政評価局の皆様、永年に亘り行政相談委員として活躍された方々、元役員など、関係各位のご臨席を賜り、公益社団法人 全国行政相談委員連合協議会設立50周年記念式典を挙行できますことを、心から御礼申し上げます。

昭和44年3月に、行政相談委員の発意により、行政相談委員の全国連合組織として設立された私どもの全相協は、平成31年3月に50年を迎えることになりました。

この間の幾星霜は決して平坦な道ではありませんでしたが、諸先輩のご努力と多くの関係者の皆様のご理解、ご協力に支えられて、現在に至っております。関係各位のご支援に深く感謝を申し上げます。

全相協は、これまで、行政部門とは独自の立場から、行政相談委員が行う行政相談

委員制度の啓発宣伝活動や相談活動を支援する事業を行い、多くの国民の利益の増進と行政の民主的な運営に寄与してきたと考えております。

社会・経済情勢が著しく変化する中、国民の行政に関する苦情の解決の促進を図るために、行政相談委員が果たしている国民と行政とをつなぐ懸け橋の役割は、ますます重要となっております。

その一方で、行政相談委員制度の認知度は50年以上を経過した現在でも、依然として決して高いとは言えず、行政相談委員自らによる啓発宣伝活動と相談活動を一層充実していくことが必要となっております。

このようなことから、50周年を機に、全相協は、行政相談委員が自ら設立した公益目的を達成するための団体であることの意義と役割を再認識するとともに、次の50年に向け、行政相談委員の活動を支援する事

業を更に充実・強化していく決意をしたところでです。

結びになりましたが、全相協の運営功勞者として表彰される受表彰者の皆様に心から敬意を表するとともに、これまでの全相協の活動にご理解とご協力をいただいた関係各位に深く感謝を申し上げます、式辞といたします。

